

日常に彩りを 花のまちづくり推進室 ☎83-5412

花のまちNEWS



01

インタビュー：花のまち花くらの活動について

ひじり野西公園付近の道道植樹ますの手入れを行っているボランティア団体『花のまち花くらぶ』。令和2年から活動に参加されている渡辺則子さんに、令和4年の活動の振り返りとともに、今年の抱負を伺いました。

【令和4年の活動はいかがでしたか？】

花くらぶが結成されて3年目のシーズンでした。一昨年の猛暑と雨がほとんど降らない厳しい気候から一転、昨年は程よい暑さと定期的な降雨で植物の生育にはとても良い気候でした。ということは雑草の生育にも丁度良く、ため息が出るほど元気な雑草を手入れするのは大変でした。それでも年々メンバーが増え、以前よりもずっと早く作業が進むようになりました。

また、新しい取組としてひじり野西公園にコキアを植えてみたのですが、大変好評で、公園を訪れる方も多くなり、「見違えるほどきれいになったね」と声をかけていただく機会も増えました。

花のまちとして街並みがきれいになっていくことや一緒に活動してくれる仲間が増えていくことで、やりがいを感じています。

【今年の抱負を聞かせてください】

私たち以外にも、町内にはボランティアで家の前や近所の植樹ますの手入れをしている方たちが多くいらっしゃいます。また、きれいにしたい気持ちがあってもどうしたら良いか分からず困っている人もいらっしゃるかもしれません。そこで、今年から仲間を増やす活動として、手伝ってほしいところに出向き、花植えまでをお手伝いする活動を始めたいと思っています。花のまちがよりきれいになっていく喜びを共感できる人が増えていくよう、これからも活動を続けていきたいと思っています。

▼花のまち花くらのメンバー



02

家の中での植物の楽しみ方 パート2

先月、秋色ブーケ・スワッグ作りのワークショップを行いました。使った素材は花壇で色付いたススキの穂やグラス（葉）など、地味でお花屋さんには売っていないような植物ばかりのドライフラワーでしたが、集めて束ねてみると『シックでとても素敵』と喜ばれました。

風水の観点では、ドライフラワーは枯れてしまった物とされ、否定的にとらえられることもあり

ますが、きれいに干してあげると形を変えて私たちを楽しませてくれます。

ドライフラワーになりにくい植物もありますが、お庭に咲いている花や買って来た花など、逆さまに吊るしてドライフラワー作りを試すのも楽しいですよ。お花がある時期にストックし、冬の季節にそれらを使ってリースやスワッグを作ってみてはいかがでしょうか？